明石工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語表現概論

科目基礎情報

科目番号	0085	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	都市システム工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	テキストは使用しない。適宜、プリントを配付する。		
担当教員	善塔 正志		

到達目標

(1) 実用的な文章（手紙・メール）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。
(2) 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。
(3) 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	問い合わせ・依頼の手紙・メールを効果的に作成できる。	文書・メールの、項目・構成・レイアウトを適切に示すことができる。	手紙・メールのレイアウトに難がある。
評価項目2	PR文書・レジメ・論文の材料選択が適切である。	PR文書・レジメ・論文に材料を示すことができる。	PR文書・レジメ・論文の材料に不足がある。
評価項目3	提案書・報告書・論文の構成・展開が適切・効果的である。	提案書・報告書・論文に構成・展開が見られる。	提案書・報告書・論文の構成・展開に難がある。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	エントリーシート・履歴書・レポート・論文など、目的の異なる様々な文章(文書) 表現について、それぞれの特徴や注意点等を概説する。各自、材料を事前に準備し、制限時間内で適切に書く練習を行い、明らかになった問題点を克服し、豊かで正しい表現力を獲得することを目的とする。
授業の進め方・方法	履歴書・PR文書・提案書・報告書・論文の基本的な作成方法・例示の講義と、その習熟・理解度を確認する設問に対する解答を授業内・授業外に作成・提出させ、評価する。
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要となる標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/3以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 1　授業の概要 2　テーマ・意図・構成・推敲について	文書作成に際して、箇条書き・符号・見出し・数値を用いて、適切にレイアウトできる。
		2週	履歴書・エントリーシート 1　データ部の書き方・自己PR部の書き方・材料収集・効果的表現（記号・構成など） 2　テーマ・事例の検討	各人の進路希望に沿った履歴書・エントリーシートを効果的に作成できる。
		3週	志望理由書・研究計画書 1　志望理由書について 2　研究計画書について	各人の希望進路に応じた志望理由と研究（キャリア）計画を適切な形式で効果的に作成できる。
		4週	小論文１ 1　テーマ：地域貢献・インターンシップ・環境 2　材料収集・構成	各テーマに応じ、適切な材料を用いて、論理的・効果的に小論文を作成することができる。
		5週	小論文２ 1　テーマ：経済・科学技術 2　材料収集・構成	各テーマに応じ、適切な材料を用いて、論理的・効果的に小論文を作成することができる。
		6週	報告書・レポート１ 1　別記書き 2　図表・レイアウト	別記書きの形式で図表を効果的に用い、レイアウトに優れた報告書・レジメを作成することができる。
		7週	テーマ別問題点の整理１ 1　内容面の問題点 2　表現面の問題点	テーマ設定・材料選択・表現技術に優れた各種文書の作成ができる。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	テーマ別問題点の整理２ 1　テーマの背景 2　問題の進展性	テーマ・問題を有効に設定し、論文の序章を適切に作成できる。
		10週	報告書・レポート２ 1　企画書・提案書 2　プレゼンテーション	企画書・提案書のレジメ・スライドを作成できる。効果的にプレゼンテーションできる。
		11週	研究テーマと問題設定 1　テーマ・問題の設定 2　自己分析	テーマを適切に設定し、有効な材料を用いて、文書を構成・展開できる。
		12週	論文１ 1　計画書 2　構成	説得力のある計画書を作成できる。論文全体の構成表を作成できる。
		13週	論文２ 1　表記上の注意 2　文献表	注記・引用・文献表を適切に書くことができる。
		14週	論文３ 1　調査・研究・意義 2　中間報告・審査会・質疑応答	研究方法を明瞭に示し、研究成果の見通しを示すことができる。中間発表・卒業研究発表までの明確な計画表を作成できる。

		15週	課題と整理 1　問題点の課題と整理 2　まとめ	自身の研究計画を見直し、適切に改善できる。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0